

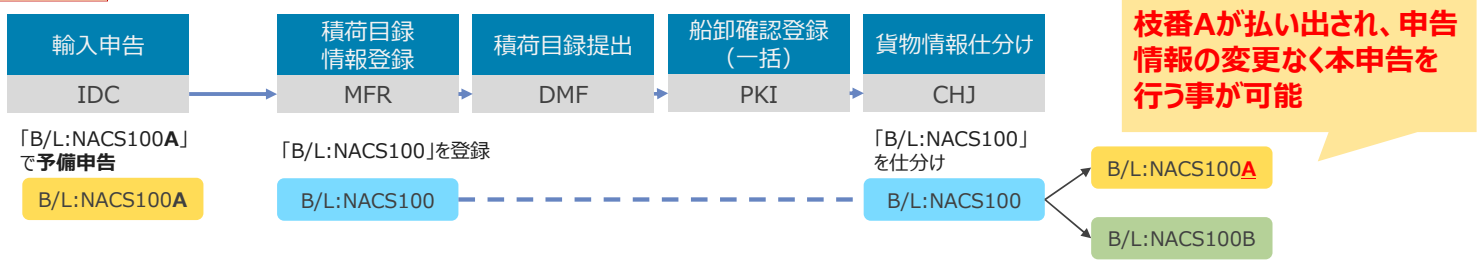
＜貨物（海上）編＞

貨物	海上	第7回WG	基本Ⅳ-4	BL番号枝番運用の改善
----	----	-------	-------	-------------

予備申告でのみ登録されている枝番付きB/L番号は、仕分け業務(SHS、CHJ)での払出し済み枝番の対象外とし、仕分け業務を行った際の枝番払い出しを行う。枝番払い出しの改善に伴い、本申告自動起動の予備申告を行った枝番付きB/L番号が、仕分け業務で払い出された際に本申告が自動起動されるよう変更する。

詳細仕様検討結果

次期



VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第9,12回WG	基本IV-16	「輸入貨物荷渡情報登録(DOR)」業務の通知先の追加
DOR業務において、通知先の入力有無にかかわらず、船卸前は貨物管理番号に登録されたコンテナオペレーション会社、船卸後は貨物の蔵置場所を管理する利用者に帳票を出力する仕様とする。				

詳細仕様検討結果

以下の条件により輸入貨物荷渡ID登録通知情報等を出力する。通知先の入力の有無にかかわらず、下記の利用者へ帳票出力を追加する。
 ・船卸前：MFR業務で入力されたコンテナオペレーション会社
 ・船卸後：貨物蔵置場所を管理する利用者

	蔵置状況	通知先	第6次NACCSの通知先	第7次NACCSの通知先
		入力有無		
船卸前	コンテナオペレーション会社有り	無し	出力なし	コンテナオペレーション会社
		有り	入力の通知先	入力の通知先/コンテナオペレーション会社
	コンテナオペレーション会社無し(99999)	無し	出力なし	エラー
		有り	入力の通知先	入力の通知先
船卸後	蔵置中	無し	出力なし	蔵置保税地域
		有り	入力の通知先	入力の通知先/蔵置保税地域
	運送中	無し	出力なし	ワーニング ※全量運送中の場合
		有り	入力の通知先	入力の通知先

VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第9回WG	基本IV-16	「輸入コンテナ引取予定情報通知(ID通知)(RSS01)」業務の改善
RSS01業務に「処理区分」、「ID通知枝番」を項目追加し、「輸入コンテナ引取予定確認情報通知(ID確認)(RST01)」業務が実施されるまで取消しを可能とする。取消しを行った際、登録時に入力された通知先に取消帳票「輸入コンテナ引取予定ID通知取消情報」を出力する。				

詳細仕様検討結果

RSS01業務に処理区分、ID通知枝番を項目追加し、取消しを可能とする。
 取消し時には入力不要となる項目があるため、一部項目を必須項目から任意項目に変更。(登録時は従来通り、必須入力であることをチェックする。)
 取消しを行った際、登録時に入力された通知先に取消帳票「輸入コンテナ引取予定ID通知取消情報」を出力する。

輸入コンテナ引取予定情報通知 (RSS01) → 輸入コンテナ引取予定情報通知 (RSS01) → 輸入コンテナ引取予定確認情報通知 (RST01)

処理区分: 9 (登録) → 処理区分: 1 (取消) → 取消実施不可

取消帳票: 輸入コンテナ引取予定ID通知取消情報

項目追加

処理区分* (9:登録 1:取消)

通知先

ID通知枝番

コンテナ番号

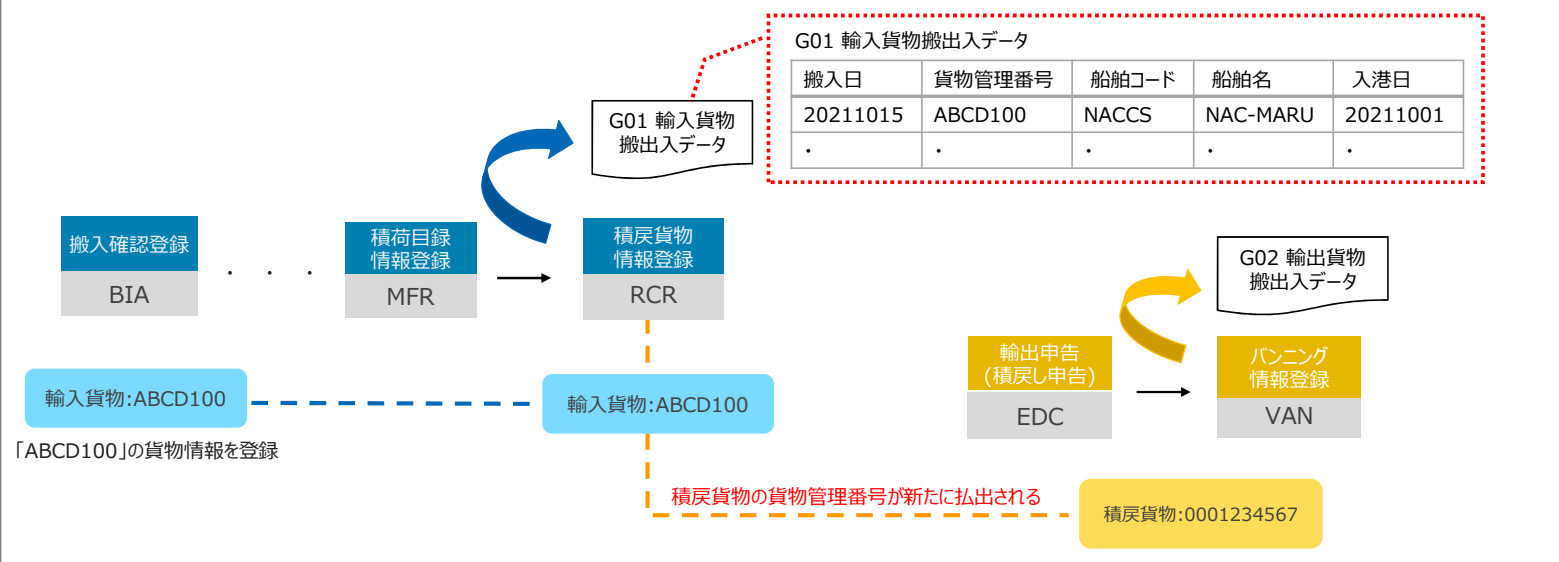
VIII 詳細仕様検討結果

貨物 海上 第9回WG 基本IV-16 積戻貨物に関する輸入本船名等の「G01 輸入貨物搬出入データ」への出力

「積戻貨物情報登録(RCR)」業務実施を契機として、「G01 輸入貨物搬出入データ」に積戻貨物に関する情報が収集出力されるよう変更する。

詳細仕様検討結果

現行、積戻貨物に関する情報は、「G02 輸出貨物搬出入データ」にしか収集出力されないが、RCR業務を契機に「G01 輸入貨物搬出入データ」へも収集出力する。



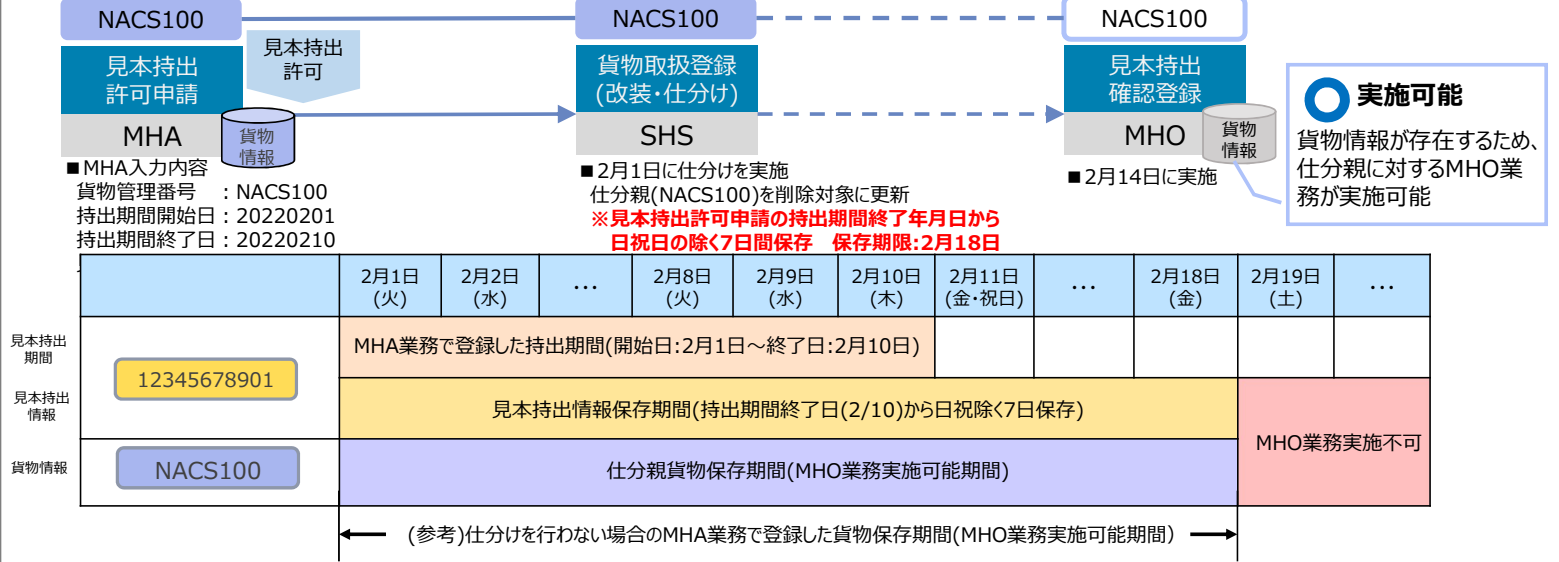
VIII 詳細仕様検討結果

貨物 海上 第11,15回WG 基本IV-4 改装・仕分け後の「見本持出確認登録 (MHO)」業務の改善

「見本持出許可申請 (MHA)」業務実施後、MHO業務前にSHS業務が行われた場合、仕分親貨物情報が見本持出許可申請の持出期間終了年月日から7日後 (*日祝日除く)まで保存されるように変更する。 ※持出期間終了年月日までは仕分親貨物に対するMHO業務を実施可能とする。

詳細仕様検討結果

見本持出許可申請の持出期間終了年月日から7日後 (*日祝日除く)まで仕分親貨物情報を保存することで、仕分親貨物情報に対してのMHO業務を実施可能とする。



VIII 詳細仕様検討結果

貨物	航空 海上	第10回WG	基本IV-4	「内国貨物運送申告(DCC)」業務等の改善
----	----------	--------	--------	-----------------------

DCC業務にて1品目あたり200コンテナの入力を可能とする。

詳細仕様検討結果

1. 現行仕様

DCC業務では、1品目あたりに60コンテナの入力が可能となっているが、数百本単位で運送する場合がある。

2. 次期仕様

DCC業務にて1品目あたり200コンテナの入力を可能とする。
また、上記に合わせて関連業務の出力帳票のレイアウト変更を行う。

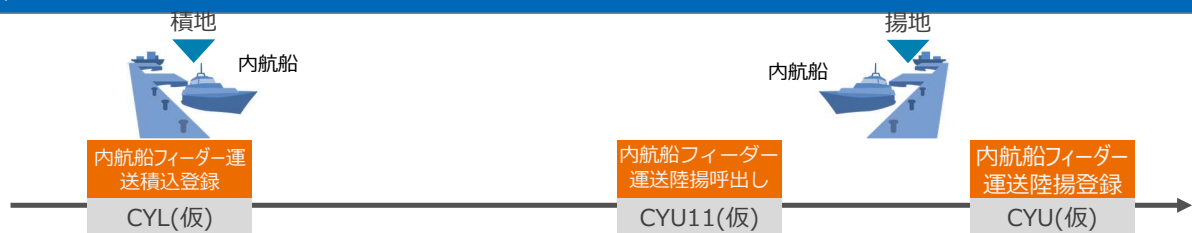
業務コード	業務名	出力情報名
DCC	内国貨物運送申告	内国貨物運送申告控情報
		内国貨物運送承認通知情報
		内国貨物運送承認情報
DCE	内国貨物運送申告(承認)変更	内国貨物運送申告訂正控情報
		内国貨物運送承認訂正・取消控情報
		内国貨物運送期間延長申請控情報
DCE11	内国貨物運送申告(承認)変更呼出し	内国貨物運送申告(承認)変更呼出情報
		内国貨物運送申告(承認)変更(期間延長)呼出情報
DCZ	内国貨物運送申告審査終了	内国貨物運送承認通知情報
		内国貨物運送承認情報
		内国貨物運送承認訂正通知情報
		内国貨物運送承認訂正情報
		内国貨物運送期間延長承認通知情報
		内国貨物運送期間延長承認情報
IDT	内国貨物運送申告照会	内国貨物運送申告照会情報

VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第17,18回WG	基本IV-4	内航船による外貿コンテナフィーダー手続(1)
----	----	-----------	--------	------------------------

内航船単位に複数コンテナの積込(搬出)登録および陸揚(搬入)登録が可能な業務を新設する。

詳細仕様検討結果



業務名称(業務コード)(仮)	機能概要
内航船フィーダー運送積込登録 (CYL)	・内航船単位(船舶コード+船名+航海番号+積地CY+揚地CY)に、コンテナの積込(搬出)登録を行う。
内航船フィーダー運送陸揚呼出し (CYU11)	・CYU業務に先立ち、内航船単位(船舶コード+船名+航海番号+揚地CY)に陸揚するコンテナ番号の呼出しを行う。 ・CYL業務で登録されたコンテナのうち、入力者のCYを揚地とするコンテナ番号を内航船単位に呼出す。 ・CYL業務で登録された輸入コンテナのうち、入力者のCYを揚地とするコンテナを呼び出すことなく、内航船単位に一括で処理する。 ※輸出/仮陸コンテナについては、一括処理は不可とする。
内航船フィーダー運送陸揚登録 (CYU)	・内航船単位(船舶コード+船名+航海番号+揚地CY)に、入力者のCYを揚地とするコンテナの陸揚(搬入)登録を行う。 ・従来通り、「コンテナ搬出確認登録(CYO)」業務で搬出確認されたコンテナについても、フィーダー運送により陸揚した旨の登録を可能とする。(CYU11業務による呼出しは不可)

VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第17,18回WG	基本IV-4	内航船による外貿コンテナフィーダー手続 (2)			
パターン		積地		揚地		留意事項	
新規業務のみ		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">内航船フィーダー 運送積込登録</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">CYL(仮)</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">内航船フィーダー 運送陸揚呼出し</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">CYU11(仮)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">内航船フィーダー 運送陸揚登録</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">CYU(仮)</div>		次期想定運用 積地で新規業務によって搬出処理を実施すると揚地において本船単位の処理が可能	
既存業務のみ		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">CY搬出確認</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">CY搬出確認</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">登録</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">CYO</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">CY搬入確認</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">CY搬入確認</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">登録</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">CYA</div>		※新規業務の利用も可能 その場合は「積地：既存業務」パターンと同様	現行運用 社内システム等の理由により、新規業務の対応ができなくとも、現行のCYO/CYA業務での処理も可能
積地：既存業務		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">CY搬出確認</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">CY搬出確認</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">登録</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">CYO</div>		※CYO業務で搬出した場合 コンテナ番号の入力を要する <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">内航船フィーダー 運送陸揚呼出し</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">CYU11(仮)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">内航船フィーダー 運送陸揚登録</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">CYU(仮)</div>		積地でCYO業務により搬出したコンテナは内航船に積載された状態とならないため、揚地で本船単位の新規業務を実施の際に呼出しCYU11業務の実施不可のため、コンテナ番号の入力が必要	
揚地：既存業務		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">内航船フィーダー 運送積込登録</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">CYL(仮)</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">CY搬入確認</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">CY搬入確認</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">登録</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">CYA</div>		※新規業務の利用も可能 その場合は「新規業務のみ」パターンと同様	積地で新規業務を実施した場合揚地で既存業務、新規業務いずれも実施可能

VIII 詳細仕様検討結果

バンニング情報追加(VAA)業務において輸出管理番号の制限を100件から6000件に変更し、1コンテナに対して登録可能な輸出管理番号の件数を最大6000件とする。コンテナ単位に出力する帳票の輸出管理番号の繰り返し数を最大1500件に変更する。

詳細仕様検討結果

VAA業務 入力画面

VAA バンニング情報追加

ファイル(F) 表示(O)

コンテナ番号*

バンニング場所

追加登録総件数が101件以上となる場合

追加識別 全件登録完了表示

001 輸出管理番号等

バンニング個数 - 重量 - 容積 -

プッキング番号 (貨物)

009 輸出管理番号等

バンニング個数 - 重量 - 容積 -

プッキング番号 (貨物)

010 輸出管理番号等

バンニング個数 - 重量 - 容積 -

プッキング番号 (貨物)

①追加識別

1コンテナに対して101件以上の輸出管理番号を登録する場合に「Y」を入力する。

②全件登録完了表示

101件以上の輸出管理番号を登録する場合(追加識別を入力した場合)で、輸出管理番号の登録を終える際に「E」を入力する。「E」が入力されたタイミングで搬入先の保税地域等に帳票を出力する。

VAA業務1送信で登録可能な輸出管理番号件数を100件まで拡大し、1コンテナに対して101件以上の輸出管理番号を紐づけ可能とする。(1コンテナに対して登録可能な輸出管理番号を最大6,000件とする)

- 1送信につき最大100件の
- 輸出管理番号が登録可能

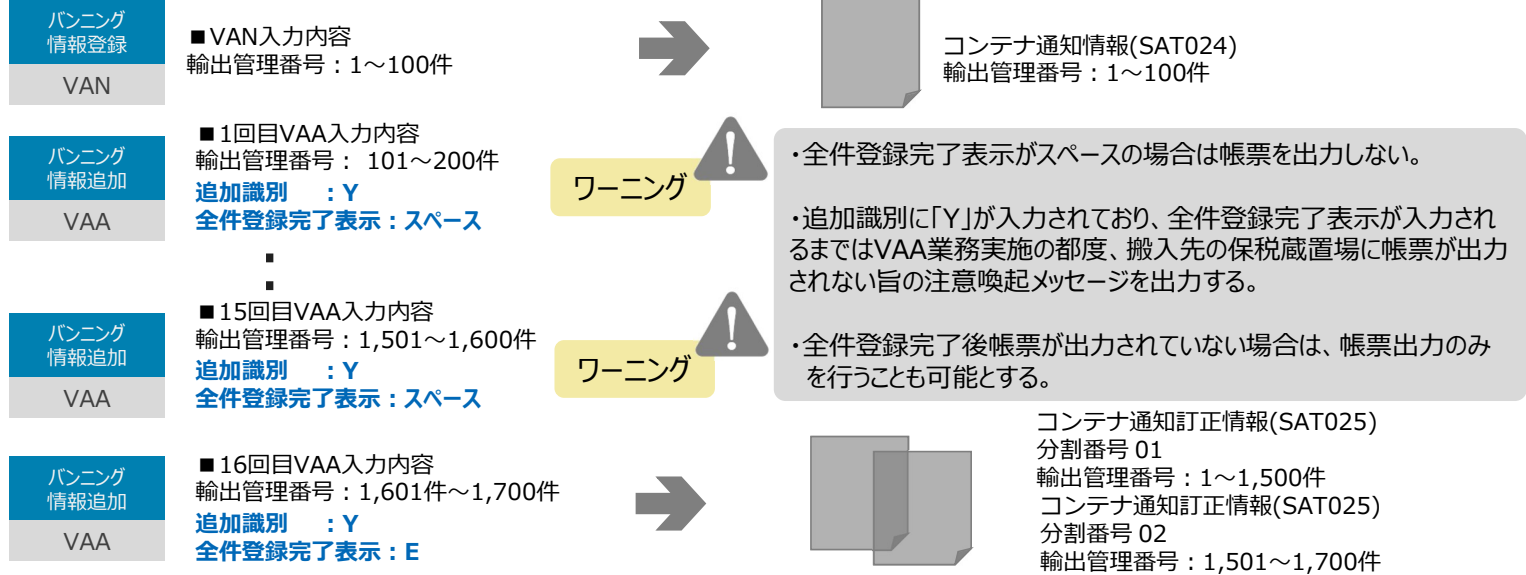
VIII 詳細仕様検討結果

貨物 海上 第16,17回WG 基本IV-4 バンニング情報における輸出管理番号登録可能件数の拡大 (2)

例：1コンテナに対し、1,700件の輸出管理番号を追加登録する場合

バンニング蔵置場

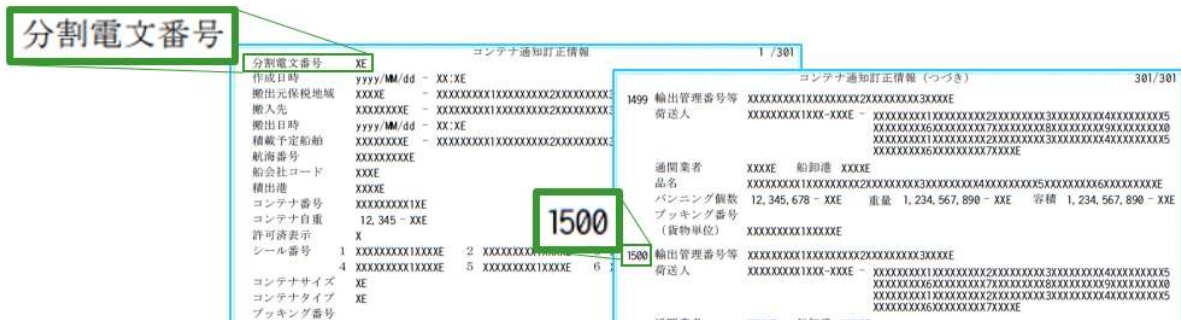
搬入先の保税地域・ブッキング船会社



VIII 詳細仕様検討結果

貨物 海上 第16,17回WG 基本IV-4 バンニング情報における輸出管理番号登録可能件数の拡大 (3)

コンテナ単位に出力する帳票(コンテナ通知情報・訂正情報)の輸出管理番号の繰返し数を最大1,500件に変更する。
1,500件以上登録がある場合に、帳票電文を分割して送信するため、「電文分割番号」項目を追加する。



変更対象出力情報名(7次出力情報コード)	欄部件数		分割有無	最大分割数
	現行	次期		
コンテナ通知情報 (SAT024 ²)	100	1,500	有	4分割
コンテナ通知訂正情報 (SAT025 ²)	100	1,500	有	4分割
搬出通知情報(コンテナ単位) (SAT027 ¹)	100	6,000	無	-
搬入先差異情報 (SAT062 ¹)	100	6,000	無	-

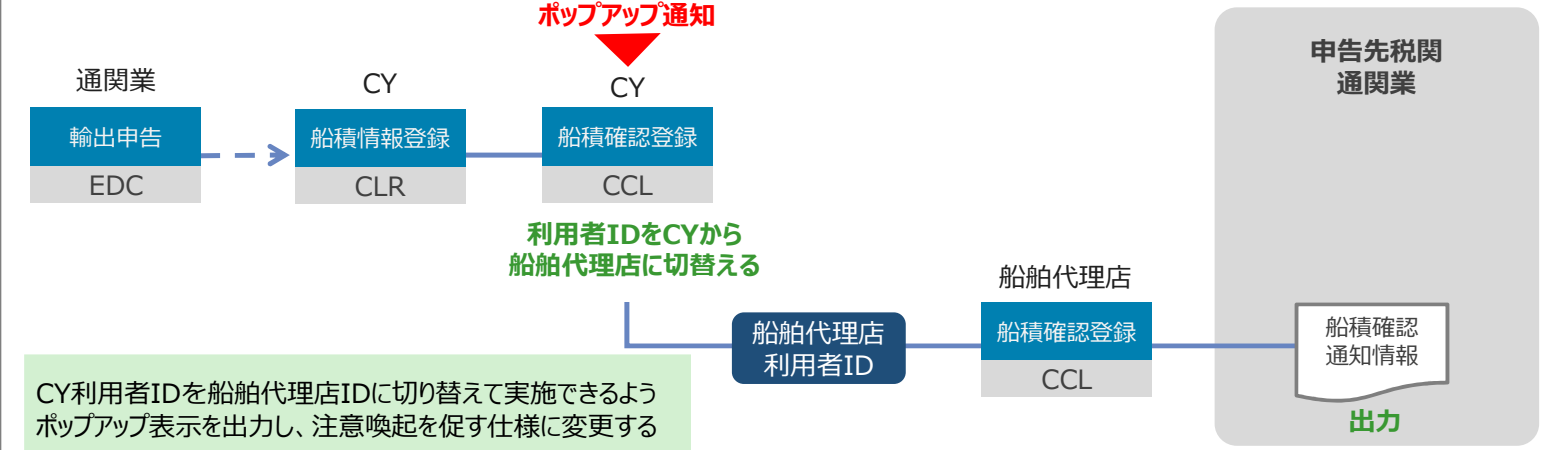
VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第15回WG	基本IV-4	「船積確認登録(CCL)」業務におけるパッケージソフトでの業種チェック (1)
----	----	--------	--------	---

CCL業務を船会社・船舶代理店以外(CY・通関業・海貨業)の利用者IDでログインし実施する際に、船積確認通知情報(SAT047)が出力されない旨の注意喚起メッセージをポップアップで通知する。

詳細仕様検討結果

CCL業務実施者が船会社以外(CY利用者)の例



※船会社・船舶代理店以外の者が、関税法施行令第15条第1項第1号に定める船長又はこれに代る者として認められないことから、CYは船積確認通知情報の出力を実施することはできない。

VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第15回WG	基本IV-4	「船積確認登録(CCL)」業務におけるパッケージソフトでの業種チェック (2)
----	----	--------	--------	---

船会社、船舶代理店以外がCCL業務を実施しようとした場合、送信前にポップアップを表示して、送信の選択を可能とする。業務送信者の利用者IDの下3桁(識別番号)の先頭1桁が特定の文字列(船会社「C」、船舶代理店「D」) **以外の場合**にポップアップを表示する。



VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第10回WG	基本IV-4	許可・承認貨物（輸出）情報の改善
----	----	--------	--------	------------------

許可・承認貨物（輸出）情報にブッキング番号を出力する。

詳細仕様検討結果

貨物管理番号に紐づくブッキング番号を以下の帳票に追加する。
なお、項目追加につき、出力情報コードの世代が繰り上げとなる。

- SAE408:「許可・承認貨物（輸出）情報」(SAE4081→SAE4082)
- SAE451:「許可・承認内容変更貨物(輸出)情報」(SAE4511→SAE4512)

許・承認貨物（輸出）情報

申告種別	X	申告等番号	XXX XXXX XXXE	許可年月日	yyyy/MM/dd	本船扱い承認日	yyyy/MM/dd
輸出者	XXXXXXXX1XXX-XXXX	XXXXXXXX1XXXXXX2XXXXXXXX3XXXXXX4XXXXXX5XXXXXX6XXXXXX7XXXXXX					
積載予定船舶	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	輸出先	XXXXE			
出港予定日	yyyy/MM/dd	積込港	XXXXE	ブッキング番号	XXXXXXXX1XXXXE	輸送期間	yyyy/MM/dd ~ yyyy/MM/dd
輸送管理番号	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX					
記号番号	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX					
貨物個数	12,345,678 XXE	貨物重量	1,234,567,890 XXE	貨物容積	1,234,567,890 XXE		
パンニング場所	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX					
記事（税関）	J11111111	J11111111					
記事（通関）	J11111111	J11111111					
社内整理番号	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX					
品名（代表）	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX					
コンテナ番号	(1) XXXXXXXXXE	(2) XXXXXXXXXE	(3) XXXXXXXXXE	(4) XXXXXXXXXE	(5) XXXXXXXXXE	(6) XXXXXXXXXE	(7) XXXXXXXXXE
	(8) XXXXXXXXXE	(9) XXXXXXXXXE	(10) XXXXXXXXXE	(11) XXXXXXXXXE	(12) XXXXXXXXXE	(13) XXXXXXXXXE	(14) XXXXXXXXXE

許・承認内容変更貨物（輸出）情報

申告種別	X	申告等番号	XXX XXXX XXXE	承認年月日	yyyy/MM/dd	本船扱い承認日	yyyy/MM/dd
輸出者	XXXXXXXX1XXX-XXXX	XXXXXXXX1XXXXXX2XXXXXXXX3XXXXXX4XXXXXX5XXXXXX6XXXXXX7XXXXXX					
積載予定船舶	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	輸送管理番号	XXXXXXXX1XXXXE	輸送期間	yyyy/MM/dd ~ yyyy/MM/dd	又は輸送貨物の発送の日を起算日とする同期間
輸出管理番号	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX					
貨物個数	12,345,678 XXE	貨物重量	1,234,567,890 XXE	貨物容積	1,234,567,890 XXE		
積載予定船舶	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX					
輸出管理番号	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX					
積込港	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX					
出港予定年月日	yyyy/MM/dd	パンニング場所	XXXXXXXXXX				
貨物個数	12,345,678 XXE	貨物重量	1,234,567,890 XXE	貨物容積	1,234,567,890 XXE		
記事（税関）	J11111111	J11111111					
記事（通関）	J11111111	J11111111					
社内整理番号	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX					
品名（代表）	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX					
コンテナ番号	(1) XXXXXXXXXE	(2) XXXXXXXXXE	(3) XXXXXXXXXE	(4) XXXXXXXXXE	(5) XXXXXXXXXE	(6) XXXXXXXXXE	(7) XXXXXXXXXE
	(8) XXXXXXXXXE	(9) XXXXXXXXXE	(10) XXXXXXXXXE	(11) XXXXXXXXXE	(12) XXXXXXXXXE	(13) XXXXXXXXXE	(14) XXXXXXXXXE

ブッキング番号を追加

VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第8,11,17回WG	基本IV-8	ACLカスタマイズツールの改善
----	----	-------------	--------	-----------------

ACLカスタマイズツールの帳票カスタマイズ画面において帳票レイアウトの直線とラベルの重複があった場合も、ラベルの見切れが発生しないように変更する。

詳細仕様検討結果

ACLカスタマイズツールの帳票カスタマイズ画面において帳票レイアウトの直線とラベルが重なっている場合、ラベルの見切れが発生しますが、重複の際にラベルが見切れないよう改善する。

カスタマイズツール変更イメージ

ACL情報（コンテナ船本情報）

pp / mp

Registration Date	XXXXXXXXXX	-	XXXX	X	Registrant	XXXXXX	B/L Instructions (Container Vessel Only)
Shipper	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX				Carrier/Shipping Agent	BOOKING No.	XXXXXXXXXXXXXXXXXX - XX XX
Shipper	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX				Master	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	
Shipper	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX				Forwarder	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	
Shipper	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX				Master	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	
Shipper	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX				Forwarder	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	

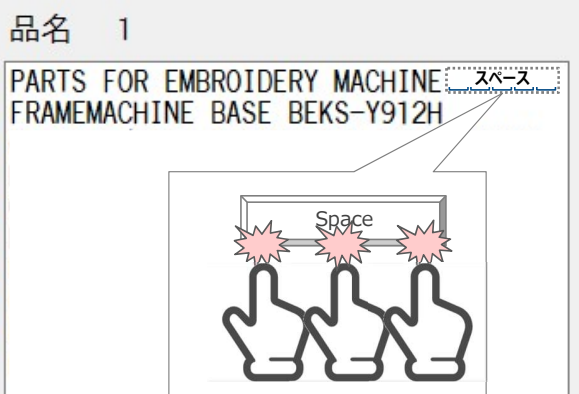
VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第8,11,17回WG	基本IV-8	ACL業務のマーク欄、品名欄の改行(折り返し可能化)
----	----	-------------	--------	----------------------------

ACL01業務及びACL02業務の品名、記号番号等の複数行項目において、行の折り返しまでのスペース補完を可能とする。行の折り返しまでのスペース補完は「Alt+Enter」にて実施可能とする。

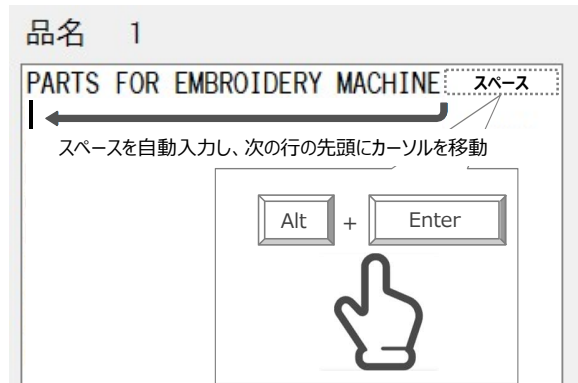
詳細仕様検討結果

現行 入力イメージ



スペースを行末尾まで何回か入力し調整している。

次期変更後 入力イメージ



「Alt+Enter」を入力する事でスペース補完可能とする。

※本件のWG提案の際、ACL業務に限らずパッケージソフトの全ての複数行項目において折り返し可能化のご要望を受け、対応する方針とした。

VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第8,11,17回WG	基本IV-8	ACL業務の入力可能文字の改善
----	----	-------------	--------	-----------------

- 荷主連絡先メールアドレス等に「_(アンダーバー)」及び「~(チルダ)」を入力可能とする。
- 荷主連絡先メールアドレスを繰返し項目とする。

詳細仕様検討結果

①ACL01業務及びACL02業務の以下の項目について、「_(アンダーバー)」及び「~(チルダ)」を入力可能とする。

- ・荷主連絡先メールアドレス
- ・荷送人住所・電話番号
- ・荷受人住所・電話番号
- ・着荷通知先住所・電話番号
- ・品名
- ・記号番号
- ・インボイス番号(「_(アンダーバー)」のみ対応)

② ACL01業務及びACL02業務の荷主連絡先メールアドレスを3回繰返し項目に変更する。

FAX番号	1	<input type="text"/>	2	<input type="text"/>	3	<input type="text"/>
荷主連絡先 メールアドレス	1	<input type="text"/>				
	2	<input type="text"/>				
	3	<input type="text"/>				
インボイス番号	<input type="text"/>			荷主セクションコード	<input type="text"/>	
Ref No.	<input type="text"/>			荷主伝送先コード	<input type="text"/>	
Order No.	<input type="text"/>			L/C No.	<input type="text"/>	

VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第8,11,17回WG	基本IV-8	ACL業務の入力項目の改善・ACL業務の入力項目の追加
----	----	-------------	--------	-----------------------------

入力項目の改善：ACL01業務等のシール番号の繰返し数を4から6に変更する。
 入力項目の追加：ACL01業務のコンテナ番号に対する「内個数」、「OVER LENGTH」、「OVER WIDTH」、「OVER HEIGHT」の入力項目を登録する。

詳細仕様検討結果

001 コンテナ番号

シール番号 1 2 3

4 5 6

個数 荷姿 -

グロス重量 - グロス容積 -

コンテナサイズ コンテナタイプ コンテナ自重 - 設定温度 -

O/L (前) cm O/L (後) cm O/W (左) cm O/W (右) cm O/H cm

内個数 1 レベル 荷姿 -

2 レベル 荷姿 -

3 レベル 荷姿 -

①シール番号欄を4欄から6欄へ変更

②内個数、レベル、荷姿名、荷姿コードを追加
 ※繰返し数は3回とする
 ・OVER LENGTH(前) ・OVER LENGTH(後)
 ・OVER WIDTH(左) ・OVER WIDTH(右)
 ・OVER HEIGHT
 ※単位は センチ(cm) としてラベルで表記


VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第8,11,17回WG	基本IV-8	ACL業務の電文分割の改善
----	----	-------------	--------	---------------

ACL情報受信者(メール/EDIFACT処理方式利用者のみ)が予め受信電文の分割の有無を選択することで、記号番号情報、品名情報、車台番号情報を分割せず、本情報相当の情報に記号番号情報、品名情報、車台番号情報も含めた新たな電文を出力する。

詳細仕様検討結果

ACL情報受信者(メール/EDIFACT処理方式利用者のみ)が予め受信電文の分割の有無を選択することで、記号番号情報、品名情報、車台番号情報を分割せず、本情報相当の情報に記号番号情報、品名情報、車台番号情報も含めた新たな電文を出力する。
 申し出の無い場合、第6次NACCSと同様に分割による電文配信とする。



NACCS

選択

✓ 分割する(第6次NACCSと同様)

- ・ACL01業務：最大3電文(本情報・記号番号情報・品名情報)
- ・ACL02業務：最大4電文(本情報・記号番号情報・品名情報・車台番号情報)

となる現行通りの出力仕様。
 送信者への返り電文およびパッケージソフト等利用者への非同期電文は現行通りの仕様となる。

✓ 分割しない(新規)

電文統合して出力する仕様。
 EDIFACT電文を含むメール処理方式にて受信する利用者へ出力する非同期電文のみを対象する。

ACL
本情報

記号番号
情報

品名情報

車台番号
情報

ACL
本情報

記号番号
情報

品名情報

車台番号
情報

VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第11回WG	基本IV-4	「積荷目録状況照会(IMI)」業務の改善 (1)
----	----	--------	--------	--------------------------

- ・IMI業務で出力する各照会結果の共通部に「運航船会社航海番号」を追加する。
- ・各照会結果の共通部の航海番号、船会社、船卸港コード、船卸港枝番の項目順をMFR業務の入力項目順に合わせ変更する。

詳細仕様検討結果

変更イメージは以下の通り。

積荷目録状況照会情報(概要照会) (SAS0840)

積荷目録状況照会情報(概要照会) (SAS0841)

積荷目録状況照会情報(概要照会) (SAS0841) 出力項目表

項目	項目名	属性	桁	繰上	繰下	区分	コード	出力条件/形式
1	出力共通項目	an	398	M				メールサブジェクトには以下の項目を出力 ・船卸港コード 6桁 ・船卸港コード+枝番 6桁
2	船理結果コード	an	75	M				システムで判定された船理結果コードを出力
3	照会区分	an	1			C		
4	船卸港コード	an	9			C		コールサイン
5	船名	an	35			C		正常終了の場合、船卸港コードに基づき船名を出力
6	運航船会社航海番号	an	10			C		正常終了の場合で、積荷目録管理DBに運航船会社航海番号が登録されている場合に出力
8	航海番号	an	10			C		正常終了の場合で、積荷目録管理DBに航海番号が登録されている場合に出力
68	船卸港コード	an	5			C		国連LOCODE
79	船卸港枝番	an	1			C		
項目810~2223は正常終了の場合で情報が存在する場合は出力								
8	航海番号	an	10			C		積荷目録管理DBに航海番号が登録されている場合に出力
910	入港年月日	n	8			C		積荷目録管理DBに入港年月日または入港予定年月日が登録されている場合に出力
1011	状況表示	an	3			C		当該本船に係る積荷目録の状況を表示する BMF：積荷目録提出前 AMF：積荷目録提出を行っている船会社が存在する場合 PID：当該本船に対して到着確認が行われている場合 END：当該本船に関するすべての貨物の船卸確認が終了している場合

VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第11回WG	基本IV-4	「積荷目録状況照会(IMI)」業務の改善 (2)
----	----	--------	--------	--------------------------

- IMI業務で出力する以下の画面の共通部について、「運航船会社航海番号」を追加する。
- また、各照会結果の共通部の航海番号、船会社、船卸港コード、船卸港枝番の項目順をMFR業務の入力項目順に合わせ変更する。
- 出力項目の追加に伴い、各出力情報コードの世代が追加となる。

業務コード	業務名	出力情報コード		出力情報名
		第6次NACCS	第7次NACCS	
IMI	積荷目録状況照会	SAS0840	SAS0841	積荷目録状況照会情報(概要照会)
		SAS0851	SAS0852	積荷目録状況照会情報(B/L番号一覧)
		SAS0860	SAS0861	積荷目録状況照会情報(コンテナ番号一覧)
		SAS0871	SAS0872	積荷目録状況照会情報(積荷目録情報)
		SAS0880	SAS0881	積荷目録状況照会情報(未船卸コンテナ一覧)
		SAS0891	SAS0892	積荷目録状況照会情報(B/L照会)
		SAS0901	SAS0902	積荷目録状況照会情報(B/L主要項目一覧)
		SAS0910	SAS0911	積荷目録状況照会情報(コンテナ主要項目一覧)
		SAS1030	SAS1031	積荷目録状況照会情報(B/L番号一覧(仮陸揚))
		SAS1050	SAS1051	積荷目録状況照会情報(B/L番号一覧(包括保税運送))
		SAS1331	SAS1332	積荷目録状況照会情報(B/L番号一覧(事前通知))
		SAS1460	SAS1461	積荷目録状況照会情報(B/L番号一覧(出港前報告不一致))

VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第10回WG	基本IV-4	「貨物在庫状況照会 (IWS)」業務の改善
----	----	--------	--------	-----------------------

- ・未許可貨物(輸入においては許可済で後続業務の実施が必要な貨物を含む)の抽出照会を選択できる入力項目を追加する。
- ・搬入日順出力を選択できる入力項目を追加する。

詳細仕様検討結果

変更イメージは以下の通り。

第6次NACCS

IWS業務 入力画面

保税地域コード

コンテナ/貨物識別*

輸出入識別*

(コンテナ/貨物識別) B: 貨物
C: コンテナ
D: コンテナ番号一覧
E: 蔵入承認済貨物

➔

第7次NACCS

保税地域コード

コンテナ/貨物識別*

輸出入識別*

在庫識別

搬入日順出力

(コンテナ/貨物識別) B: 貨物
C: コンテナ
D: コンテナ番号一覧
E: 蔵入承認済貨物

※ 貨物管理番号またはコンテナ番号の昇順に出力
1: 搬入日の昇順に出力 (過去日から出力)
9: 搬入日の降順に出力 (最新日から出力)

「搬入日順出力」を項目追加する。

- ・搬入日の昇順に出力 (過去日から出力) する場合は「1」を入力
- ・搬入日の降順に出力 (最新日から出力) する場合は「9」を入力
- ※入力がない場合は、従来通り貨物管理番号/コンテナ番号の昇順に出力

「在庫識別」を項目追加する。

輸入: 未許可貨物及び許可済で後続業務の実施が必要な貨物を照会する場合
 輸出: 未許可貨物を照会する場合
 ※入力がない場合は、従来通り全ての情報を出力 [コンテナ/貨物識別]が以下の場合のみ「Y」の入力を可能とする。

- ・B: 貨物
- ・E: 蔵入承認済貨物

VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第9,12回WG	基本IV-16	「貨物情報照会 (ICG)」業務の改善
----	----	----------	---------	---------------------

貨物情報照会情報(全体情報) (SAL0261) 及び(保税運送関連情報) (SAL0331) の出力情報にて、コンテナ数が1~4本の場合は、出力画面を1ページで収めると共に視認性を向上させる。

詳細仕様検討結果

変更前

コンテナ数が1~4本の場合、コンテナ番号とフリータイムのページが全体情報と分かれて出力されており、視認性が良くない。

貨物情報照会情報(全体情報) (SAL0261)

コンテナ本数が1~4本の場合、ページが2枚に分かれてしまい、視認性が良くない。

変更後

コンテナ1~4本目の場合は、コンテナ番号とフリータイムのページを全体情報と一緒に表示する事で視認性を向上させる。

貨物情報照会情報(全体情報) (SAL0261) ※出力情報コードの世代に変更なし

レイアウトの変更に伴い、既存の項目間のスペースを縮小する。

コンテナ番号とフリータイムのページを全体情報と一緒に表示することにより、1ページに収まる。

VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第10回WG	基本IV-4	「貨物取扱登録(改装・仕分け)(SHS)」業務等の帳票レイアウトの改善
----	----	--------	--------	-------------------------------------

「貨物取扱登録(改装・仕分け)(SHS)」業務および「貨物情報仕分け(CHJ)」業務において、2ページ目に出力している欄部の先頭1欄目を1ページ目に収まるレイアウトとする。

詳細仕様検討結果

レイアウトの変更対象は以下の3情報。

- ・貨物取扱届(改装・仕分け)情報(SAL0031)
- ・貨物取扱(改装・仕分け)情報(SAL0041)
- ・貨物情報仕分け情報(SAL0191)

貨物取扱(改装・仕分け)情報 (SAL0041)

1ページ

2ページ

- ・出力情報コードの世代の変更は無し
- ・2ページ目にあった繰り返し部の1欄目を1ページ目に出力
- ・2ページ目は2欄目を出力

2ページ

1ページ

VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第11回WG	基本IV-4	「システム外搬入登録(輸出許可済)(BIE)」業務の入力項目への「許可年月日」の追加等
----	----	--------	--------	---

BIE業務の入力項目に「許可日」を追加し、「輸出貨物情報訂正(BIF)」業務で訂正可能とする。BIE業務で入力した「許可日」が、管理資料「G02 輸出貨物搬出入データ」の「許可日」に出力されるようにする。

詳細仕様検討結果

BIE業務、輸出貨物情報訂正(BIF業務)、BIF11業務後の呼出情報(SAT016)に「許可年月日」を項目を追加し、入力された「許可年月日」を管理資料「輸出貨物搬出入データ(G02)」の既存項目である「許可日」に出力する。

システム外輸出貨物情報 (SAT013) 出力イメージ

BIE業務の項目追加画面イメージ

「許可年月日」項目を追加(必須項目)

システム外輸出貨物情報

輸出管理番号 XXXXXXXX1XXXXXX2XXXXXX3XXXX
 保税地域 XXXX - XXXXXXXX1XXXXXXE 登録者 XXXX 登録年月日 yyyy/MM/dd
 輸出許可番号 XXXXXXXX1E
 許可年月日 yyyy/MM/dd
 搬入日時 yyyy/MM/dd - XX:XX
 積戻し許可 X

輸出貨物搬出入データ(G02) 出力イメージ

既存項目「許可日」に出力

輸出日	搬入時刻	搬出日	搬出時刻	搬出取消日	搬出区分	許可番号	許可日	搬出先
99999999	XXXX	99999999	XXXX	99999999	~	XXX	XXXXXXX1X	99999999XXXXXXX
99999999	XXXX	99999999	XXXX	99999999	~	XXX	XXXXXXX1X	99999999XXXXXXX
99999999	XXXX	99999999	XXXX	99999999	~	XXX	XXXXXXX1X	99999999XXXXXXX
※明細数分繰り返す								
99999999	XXXX	99999999	XXXX	99999999	~	XXX	XXXXXXX1X	99999999XXXXXXX
99999999	XXXX	99999999	XXXX	99999999	~	XXX	XXXXXXX1X	99999999XXXXXXX
99999999	XXXX	99999999	XXXX	99999999	~	XXX	XXXXXXX1X	99999999XXXXXXX